

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2023narita

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	○			運動療育を行うだけの、十分な広いスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	○			基準を満たし、適切である。安全面を十分に配慮して支援をするようにしている
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の 配慮が適切になされているか		○		指定基準より、バリアフリー対象施設ではないが、教室内はバリアフリー化になっている。トイレ入口（1.5cm）の段差と玄関の一段だけの階段は配慮が必要な場合は付き添い（補助）の支援を行っている
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	○			窓ガラスは網入りガラスを使用し、飛散防止シートを貼っている。電灯は飛散防止のカバーを使用。下駄箱やテールカウター等にもコーナーガードを取り付けている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員会議を開き、利用者様の状況や円滑な業務と安全に配慮した支援を行えるように職員全員共通理解をしている
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施済み。ご意見は真摯に受け止め、今後の支援につなげていくよう職員間で共有している
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施済み
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			現在もコロナ禍ではあるが、対面式の研修、運動研修、毎月実施している研修などを実施している。その際、レポートの提出とともに全職員へ共有している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			今後も保護者の方と面談を行い、共通理解を図った上で、日々の記録に基づき作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時に保護者の皆様にもご協力いただき、使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用者様の状況や特性等を鑑みて立案を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			本部指導の月毎の支援内容を軸にしたり、学校の体育での内容を聞きながら練習が出来るようなプログラムを取り入れるようにしている
	13	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援しているか	○			日々の支援の際にも課題を設定を行うとともに、各イベントの際には、企画書を作成して目標や課題を決めて支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			保護者の皆様と面談をさせていただき、モニタリングを行い、作成をしている
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			運動リーダー、ブログ担当、送迎担当等の役割分担が多岐にわたるため、会議にて確認及び共有している。変更点や共有点が出た際は朝夕で確認をしている
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○			帰りの送迎後に当日の活動中の変化や気づきを共有して職員が周知の事実になるように状況を伝えるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援内容は日々の記録を付けて当日の状況が分かるようにしている。毎月の職員会議でも話し合い、記録を取るようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者の皆様にご協力いただき、面談をしながら定期的な個別支援計画の見直しを実施している
19	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	○			常勤職員に関しては全員が運動指導検定を取得することで支援方法を統一しながら怪我や事故に繋がらないよう十分注意して、工夫及び配慮した支援を行っている	
20	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	○			個別支援計画に基づいて支援をしながら、運動療育では、当日の利用者の状況や特性等を考慮しながら成功体験が積めるように支援している	

関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて、児童発達支援管理責任者が中心になり、相談支援員と連絡を取り合っている
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校からのお手紙やFAXなども駆使しながら情報共有を行っている。送迎時にも担任の先生と状況を共有している
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在までは該当がないが、該当がでた場合は、主治医と連携を取っていく方針である
	24	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	○		現在、常時与薬をする該当がない。風邪薬の与薬がある際には、必ず所定の投薬依頼書に記載していただき、保護者様に確認を取っている
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に利用していた園とは必要に応じて相談員の方からの情報などを含めて共有するように心がけている
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在までは該当なし
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携を取り、電話で助言をいただくなどしている
	28	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		成田市地域自立支援協議会に積極的に参加して情報共有を行っている
	29	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		活動内容や様子については、ブログや送迎時に報告をしている。連絡帳を連絡ツールとして毎回利用時には持参していただいている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に今後の支援内容を含め「出来たこと」「頑張ったこと」など状況を報告するようにしている。面談では今後の課題について話し合いをしている
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	教室で実践している支援内容を伝えて自宅でも実践していただく支援は行っているが、今後ご満足いただけるように適切に伝える努力をする
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明ツールとして資料を提示して説明している。説明後のチェックシートに沿って実施している
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		助言に関して困った場合には相談支援員等にも相談し、利用日数なども変更しながら支援を行っている
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		運営規定への記載の他に、教室玄関への掲示、契約時にも資料提示とともに口頭でも説明している
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		利用希望表にイベント情報などを記載するとともにブログ保護者の皆様にはLINE等でもお知らせしている。ご回答いただく場合には保護者宛文書を作成してお手紙を配布している
	36	個人情報に十分注意しているか	○		利用者との同意書の取り交わし、HPに保護方針の記載他、職員間の同意書、ブログ作成時のWチェック等を行っている
	37	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		契約時に利用者同意書を取り交わし、説明を行い、同意を得ている
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に見やすいようにして説明を加えるなどの配慮を心がけている
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍の為、地域の方々を招待することが出来ずにいるが、玄関付近で活動している際には挨拶を交わしたりする交流は継続している

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内にマニュアルを壁掛で設置して閲覧出来る状況を作っている。保護者には契約時の他にLINEやお手紙等でも定期的に配信、説明を行っている
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回の教室内訓練及び消防本部に年2回届け出を提出して避難訓練を実施。定期的に行っており実施後は避難訓練プリントなどを自宅に持ち帰り、家庭でも考えていただくように工夫している
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員の虐待発見時は上司への報告だけでなく、直に担当機関への報告することを共有している。研修への参加の機会を与え、参加者は共有をすることとしている。また、委員会も設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行う事例がないため、サービス計画を作成する利用者もない。ただし、身体拘束時の対処方法については共有済み
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示の元、保護者を通してアレルギーが出てしまう食材などを共通理解して注意している。食物アレルギーの利用者の場合は、持参物のみを食していただく対応をしている
	45	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○		発生時の記録は当日に作成することを徹底しており、全職員で共有事項としている。月末に取り纏めて各事業所間でも共有を行っている